

# 映画館のクオリティを スリムなワンボディに

黎明期から現代まで約75年に渡って、映画館の音響設備を担うトップブランド、JBLがその最先端の音響テクノロジーを惜しみなく注ぎ込んだこの夏、テレビシアター大賞を獲得したサウンドバー JBL「Bar 5.0 MultiBeam」の魅力に迫ります。

## ホームシアターの夢を叶える本格派

映画や音楽ライブ、スポーツイベントなど様々なエンタメをおうちで楽しむことも増えてきた昨今、大画面テレビと組み合わせることで、手軽にホームシアターを構築できる「サウンドバー」が注目を集めています。そのなかで今夏、評論家からもっとも支持されたアイテムがJBL「Bar 5.0 MultiBeam」です。

最大の魅力は、本物の映画館を想起させるほど、臨場感あふれるサウンドにあります。JBLは約75年にわたって映画館の音響設備を支えてきたブランドで、日本屈指の音のいい劇場としても知られるイオンシネマ幕張新都心「8番スクリーン」においてもJBL PROFESSIONALのスピーカーが採用されています。こうした最先端の映画館は「ドルビーアトモス」という立体音響に対応していますが、このサウンドバーもまたドルビーアトモス再生に、ハイレベルに対応しています。スリムなボディですが、内部には5個のスピーカーと4基のパッシブラジエーターが搭載されていて、総合出力250Wのハイパワーで駆動する構造になっていて、サイズからは想像できないパワフルな音を再生できます。しかも、音をビーム化して壁反射を利用して前後左右にリア

ルな音場を作り出す「MultiBeam™ テクノロジー」と、高さ方向の音を再現する「バーチャル Dolby Atmos®」を掛け合わせるJBL独自技術によって、音の移動感や包囲感をリアルに再現することができるのです。本体に内蔵されているマイクで、お部屋の音響特性にあわせて自動で音のビームを調整してくれるので、あなたのお部屋でも手軽に臨場感あふれるサラウンドが実現できます。

接続もいたってかんたんです。お手持ちのテレビのHDMI端子がeARCに対応していれば、Netflixなどドルビーアトモスに対応した映像ストリーミング配信コンテンツもケーブル1本でより高品位に楽しめるほか、テレビのリモコンでサウンドバーの音量調整もできてとても便利です。スマホとBluetoothで接続して普段使いのスピーカーとして活用することもできます。

夢のホームシアターを身近にしてくれるサウンドバー、JBL「Bar 5.0 MultiBeam」があれば、自宅が臨場感あふれるエンタメ空間に。今夏、絶対に注目してほしいアイテムです。



テレビシアター大賞 金賞  
サウンドバータイプTV用オーディオ (3万円以上4万円未満)



最先端の映像音響設備を導入したプレミアムな映画館「イオンシネマ幕張新都心8番スクリーン」。ここにもJBL PROFESSIONAL製のスピーカーが当然のように採用されています。



サウンドバー

JBL

# Bar 5.0 MultiBeam

¥OPEN

SPEC ●総合出力：250W ●スピーカー構成：5.0ch ●接続端子：HDMI出力(eARC)×1、HDMI入力×1、光デジタル音声入力×1、USB×1、LAN×1 ●外形寸法：709W×58H×101Dmm ●質量：2.8kg



### 独自技術で立体音響を 臨場感たっぷりに

音をビーム化して壁に反射させることで、前後左右方向はリアルなサラウンドで表現し、高さ方向の表現はバーチャルで再現する、ハイブリッドな立体音響システムでドルビーアトモスに対応。さらに本体天面に搭載されたマイクを使って、室内環境を計測、音質を最適化する機能も搭載されています。スイートスポットが広く、リビングで家族揃ってソファに座って楽しむようなシーンにもぴったりのホームシアターシステムです。

## 映画館の感動を連れてきてくれる

VGP審査員 折原一也

映画館やコンサート会場向けのプロフェッショナルスピーカーを手掛けるJBL。国内有数の「音のいい映画館」として知られるイオンシネマ幕張新都心でも実際にJBLのスピーカーが採用されていますが、JBL「Bar 5.0 MultiBeam」はまさにこういった最先端の映画館の音を家庭に連れてきてくれるサウンドバーです。JBL独自の「MultiBeam™ テクノロジー」は、設置場所の部屋の音の反射特性を測定し、精緻なまでの音空間を作り上げてくれます。眼前スピーカーの存

在のサイズを大きく超えて、部屋の壁のサイズも超えた空間が広がります。『ボヘミアン・ラブソディ』終盤のスタジアムでの演奏シーンでは、スタジアム外の俯瞰からステージへとカメラが移動する音の移動感、臨場感が情熱的に湧き上がり、まさに劇場の体験が蘇ります。ホームで映画館の臨場感を再現できるアイテムとして、満場一致でテレビシアター大賞が授与されました。



## ほんの数秒の測定でベストな音場空間に

VGP審査員 野村ケンジ

近頃は手軽にサラウンド環境を実現できるサウンドバーがブームを迎えていて、手頃な価格の製品がいくつも登場していますが、そのなかでもこのJBL「Bar 5.0 MultiBeam」は、頭ひとつ飛び抜けた実力を持ち合わせています。出色の出来といえるのが音場表現の素晴らしさです。サウンドバーはボンと置くだけの手軽さでサラウンドを実現できる製品ですが、そのぶん定位感に関してはリアル5.1chスピーカーのような正確さを追求することはできません。しかしJBL「Bar 5.0 Multi

Beam」では、集音マイクを使った測定でベストな音場空間を作り上げてくれます。しかも、ほんの短い時間の測定だけで、定位感や音の移動のスムーズさなど、見事な音場表現を体感させてくれるのです。さらに、音質についてはパワフルで躍動的。ライブ映像なども臨場感たっぷりに楽しめます。eARCによってストリーミング配信映像をドルビーアトモスで楽しむなど、最新モデルらしいハイスペックも持ち合わせています。とても良質で、とても便利な製品です。



## 全方位を包み込む生々しい音

VGP審査員 山本 敦

久しぶりに度肝を抜かれたサウンドバーです。音のビームを部屋の壁に反射させて豊かな音の広がりを描く「リアルサラウンド」と、高さ方向へ限界を感じさせない空間再現をつくる「バーチャル Dolby Atmos®」を巧みに融合させたJBLの先進サラウンドの迫力は本物です。音楽ライブの作品では、頭のとっぺんから足もとまで、全身360度を包み込むような音の生々しさに思わず鳥肌が立ちました。しばらく足を運ぶことができていない大きなコンサートホールで聴いているよう

な、あふれる臨場感が味わえます。細身な筐体なのにアクション映画の太い重低音も力強く鳴らし切ります。

「生きた音」を実現するために求められる老舗スピーカーブランドの知見が、このサウンドバーによる刺激に満ちた体験に余すところなく反映されています。わが家で豊かなシアター時間を過ごしたいと考えている、すべての方々にお薦めできます。

